

2011年1月26日

2 / 1 (火) 「銀聯」決済サービスを開始

～フジグラン北島にて取り扱い開始～

株式会社フジ(本社:愛媛県松山市 代表取締役社長:尾崎 英雄)は、地域行政と協力し、中国人観光客誘致の一環として、中国での一般的な決済手段である「銀聯(ぎんれん)」を導入し、2月1日(火)よりフジグラン北島(徳島県)にて取り扱いを開始いたします。

銀聯カードは、中国内外の200以上の金融機関が発行する「銀聯ブランド」のついたキャッシュカードで中国人観光客の一般的な決済手段となっています。

年々、日本への中国人観光客が増加する中、2010年より中国人個人観光客向けのビザ発給条件が緩和され、今後は地方への観光需要拡大にも期待が集まっています。また、中国人観光客の日本での買い物需要に対応する決済サービスの取り扱いが求められています。

徳島県では医療観光を通じて中国人観光客の誘致を積極的に進めており、今春には定期チャーター便が就航するなど、中国人観光客の増加が見込まれています。

今回、導入をはじめめるフジグラン北島は徳島市中心部と徳島阿波おどり空港の近隣に位置する徳島県内最大級のショッピングセンターで、衣食住から化粧品までの幅広い品ぞろえと多数の飲食テナントや、県内唯一のシネマコンプレックスを擁しています。

今後もフジは、お客様への更なるサービス向上に努めてまいります。

【実施要綱】

フジグラン北島 直営売場 および
テナントの一部(メディコ21 薬局/コスメ)

【銀聯(ぎんれん)カード】



以上